

H23.11.25

内水面支場 News!

かわら版 Contents

漁村コミュニティの自立
支援に向けて

ミャンマーのJICA研修生が養殖と漁業振興技術の研修で来場!



平成23年11月17日、JICAの国別研修プログラムの一環で10月下旬から来日しているミャンマーの水産行政部局の水産技官3名が、通訳、コーディネーターとともに現場を訪れました。水産技官のティンティンモエ(Theint Theint Moe)さんは畜水産省水産局品質管理部に、エータンダールイン(Aye Thandar Lwon)さんは研究開発部に、ミミカイン(Mi Mi Khine)さんは水産局Hlawga養殖場に所属しています。

今回の来日の目的は、日本の事例を参考にして自国の内水面の漁村コミュニティにおける食糧増産と生計向上のための淡水魚養殖技術や漁村振興の指導プランを立案することにあります。約1ヶ月にわたる研修期間中、横浜での講義研修のほか現地研修として内水面漁業やコイの網いけす養殖業の盛んな本県を訪れたものです。

当日は現場研究職員による概要説明や場内施設見学を通じて、本県の水産関連施策や試験研究の内容のほか、内水面漁業・養殖業や霞ヶ浦北浦の漁場環境の現状、また漁業者による資源管理型漁業の取り組みなどについて、理解を深めていただきました。幅広い意見交換は双方とも有意義なものとなりました。彼らの研修が充実されますことを祈ります。

お問い合わせ 茨城県水産試験場内水面支場(内水面資源部) TEL 0299-55-0324